災害を知ろう

ため池の決壊

ため池は、大雨や地震により決壊する恐れがあります。
万が一決壊すると、下流の家屋や公共施設等に被害を及ぼす恐れのあるため池を「特定ため池」として指定しています。
自宅付近の特定ため池の場所を把握しておきましょう。

◀兵庫県CGハザードマップ
万一決壊した時の浸水想定範囲を確認しておこう！

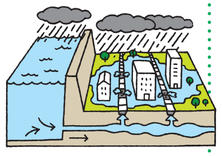
特定ため池マップ▶

日頃から、不用意にため池には近づかないようにしましょう！

内水はん濫

大雨が降った時に、海や川に雨水を排水することができず、道路側溝やマンホールから雨水が噴き出して、浸水することです。浸水しているところには、近づかないようにしましょう。

◀浸水から街を守る



高潮による浸水

台風など、発達した低気圧が近づくと海面水位が異常に高くなることがあります。
沿岸部の状況は、神戸港防災ポータルサイトで確認できます。

◀神戸港防災ポータルサイト
沿岸の現況映像や防潮鉄扉の開閉状況をリアルタイムで配信。

過去最大級の台風による高潮への対策は完了しています。

台風の時は、海岸付近には近づかないようにしましょう。

地震・津波

明日かもしれない、南海トラフ巨大地震

今後30年以内にマグニチュード8以上の地震が発生する確率は80%程度とされています。
神戸市では「1000年に1度」の確率で発生する津波への対策は完了しています。

予想される神戸市内の震度	最大震度	全域の震度
	6強	5強以上

巨大地震直後は、津波の情報も確認

大津波・津波警報が発表されたら、津波を想定した避難行動を！

高さ1m以上の津波到達までの時間は最速で約80分と予想されています。

津波が発生するかどうかで避難行動が変わります！
正確な最新の情報を確認しよう！

問い合わせ先
0570-083-330 FAX 078-333-3314
神戸市お問い合わせセンター（年中無休8:00～21:00）
※災害テレホンセンター 0570-078-500は、0570-083-330に統合しました

メールフォームはこちら

よくある質問はこちら

KOBE

兵庫区 くらしの防災ガイド
保存版 2025年度

大切な人を守るためにも準備しよう

土砂災害・水害ハザードマップ付
広報紙KOBEから抜き出してお読みください

ハザードマップを正しくチェック!するための3STEP

① 自宅周辺の危険なエリアをチェックしよう

色がついている場合は凡例で中身を確認しよう！

② 避難所を探そう

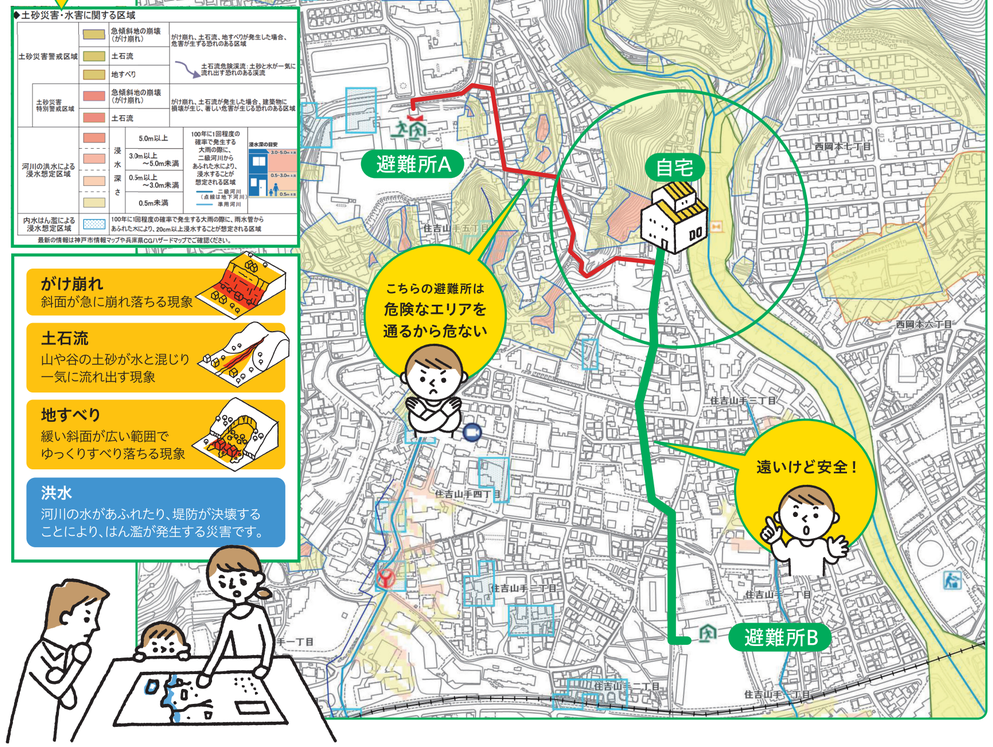
・複数の避難所を検討しよう！
どこの避難所でも大丈夫
・安全ルートを確認しよう！

③ 実際に避難所まで歩いてみよう

避難ルートの近くに川、水路、がけ地などがないか、確認しよう！

がけ崩れ
斜面が急に崩れ落ちる現象

土石流
山や谷の土砂が水と混じり一気に流れ出す現象

地すべり
緩い斜面が広い範囲でゆっくりすべり落ちる現象

洪水
河川の水があふれたり、堤防が決壊することにより、はん濫が発生する災害です。